

輸入カボックシードから発見された害虫

深 町 十 吾*・山 崎 昭

神戸植物防疫所大阪支所

カボックシードは東南アジア及びアフリカ諸国から輸入されるが、一般に害虫の種類及び付着程度ともに多い。本調査はカボックシードから発見される害虫のうち、日本未発生または局地的に発生している害虫並びに発見頻度（調査隻数に対する発見隻数の百分率）または付着程度（当該虫を発見した船における平均虫数の高い害虫を明らかにするため実施した。

調査にあたり、御協力を得た当所国際第2係の方々に深く感謝の意を表する。

本調査は、昭和38年5月から昭和39年4月までの12ヶ月間に、インドネシアほか6ヶ国から大阪港に輸入されたカボックシード39隻分について実施した。試料は1船

毎に3ヶ所から合計5kg採集して調査した。

調査の結果発見した害虫は24科・25属・29種で、このうちには、日本未発生または局地的に発生している害虫として、ガイマイツヅリガ、ホリマメムシ、シャムコクヌスト、カドコブホソヒラタムシ、オオメノコギリヒラタムシ、コメノコクヌストモドキ、ヒラタヒメコクヌストモドキの7種、およびこのほか死虫ではあったが、タイ及びカンボジャ産のものからシバンムシの一種、タイ産のものからコメツキモドキの一種などが発見された。

害虫の種類別・産地別発見回数（発見隻数）は別表のとおりである。鱗翅目の発見頻度と付着程度は、この調査をはしけで行ったため充分検討を加えることは出来なかった。

輸入カボックシードから発見された害虫の種類別仕出国別・発見回数（発見隻数）

発見害虫の種類	仕出国名及び調査回数 (調査隻数)						
	インドネシア	タイ	カンボジア	ナイゼリヤ	トーゴ	ケニア	タンガニカ
	13	15	5	3	1	1	1
コナチャタテムシ科 ATROPIDAE							
コナチャタテムシ <i>Atropos pulsatorium</i> LINNÉ	2	9	5				16
メイガ科 PYRALIDAE							
ガイマイツヅリガ <i>Corcyra cephalonica</i> STANTON	5			2		1	8
コナマダラメイガ <i>Ephestia cautella</i> WALKER	2		2	1			5
ノシメコクガ <i>Plodia interpunctella</i> HUBNER	1						1
メイガ科の一種 Gen. et sp.?	1				1		2
カッコウムシ科 CLERIDAE							
アカアシホシカムシ <i>Necrobia rufipes</i> DEGEER	2						2
カッコウムシ科の一種 Gen. et sp.?	5						5
ホソマメムシ科 THORICTIDAE							
ホソマメムシ <i>Thorictodes heydeni</i> REITTER	6	4	1				11
コクヌスト科 OSTOMIDAE							
シャムコクヌスト <i>Lophocateres pusillus</i> KLUG	8	9				1	1
コクヌスト <i>Tenebroides mauritanicus</i> LINNÉ	1				1	1	3

* 現在神戸植物防疫所姫路出張所

ケシキスイ科 NITIDULIDAE

ガイマイデオキスイ *Carpophilus dimidiatus* FABRICIUS

10 11 5 1 1 1 29

ケシキスイ科の一種 Gen. et sp.?

1 1

ホソヒラタムシ科 SILVANIDAE

カドコブホソヒラタムシ *Ahasverus advena* WALTHER

1 1 2

オオメノコギリヒラタムシ *Oryzaephilus mercator* FAUVEL

3 1 1 5

ノコギリヒラタムシ *Oryzaephilus surinamensis* LINNÉ

1 1 1 3

ヒラタムシ科 CUCUJIIDAE

トルコカクムネヒラタムシ *Laemophloeus turcicus* GROUVELLE

2 2

サビカクムネヒラタムシ *Laemophloeus ferrugineus* STEPHENS

2 6 8

コキノコムシ科 MYCETOPHAGIDAE

チャイロコキノコムシ *Typhaea stercorea* LEITTER

2 4 6

カツオブシムシ科 DERMESTIDAE

カツオブシムシ科の一種 Gen. et sp.?

2 1 2

シバンムシ科 ANOBIIDAE

タバコシバンムシ *Lasioderma serricorne* FABRICIUS

6 6 1 1 1 15

ジンサンシバンムシ *Stegobium paniceum* LINNÉ

2 1 3

ヒョウホンムシ科 PTINIDAE

セマルヒョウホンムシ *Gibbium psyllioides* CZEMPINSKI

1 1

ゴミムシダマシ科 TENEBRIONIDAE

ガイマイゴミムシダマシ *Alphitobius diaperinus* PANZER

4 2 1 7

コメノコクヌストモドキ *Latheticus oryzae* WATERHOUSE

1 1

ヒラタメコクヌストモドキ *Palorus subdepressus* WOLLASTON

3 1 4

コクヌストモドキ *Tribolium castaneum* HERBST

12 14 5 3 1 1 1 37

ゾウムシ科 CURCULIONIDAE

コクゾウ *Sitophilus zeamais* MOTSCHULSKY

1 4 1 6

ゾウムシ科の一種 Gen. et sp.?

1 1

鞘翅目の発見頻度を種類別に比較すると次のとおりである。

発見頻度が高かった種類は、コクヌストモドキ 95%、ガイマイデオキスイ 74%、シヤムコクヌスト 49%、タバコシバンムシ 38%、ホソマメムシ 28%の順で、低かった種類は、コメノゴミムシダマシ 3%、セマルヒョウホンムシ 3%、トルコカクムネヒラタムシ 5%、カドコブホソヒラタムシ 5%、アカアシホシカムシ 5%の順であった。

付着程度が高かった種類は、コクヌストモドキ 37.0匹、ガイマイデオキスイ 10.0 匹、ホソマメムシ 6.2 匹などで、低かった種類は、セマルヒョウホンムシ、コメノゴミムシダマシ、アカアシホシカムシ、カドコブホソヒラタムシ、コクヌスト及びノコギリヒラタムシの各1

匹であった。

発見頻度とは付着程度の間には、発見頻度の高いものほど付着程度も高い傾向が見られた。

発見害虫の種類と産地との関係は、インドネシア (13 隻) とタイ (15 隻) で、害虫の種類、発見頻度及び付着程度とも大差はなかったが、そのほかの産地は調査回数が少なく、差異を見ることは出来なかった。

しかしながら、東南アジアとアフリカ地方に共通して発見された害虫も多く、ガイマイツツリガ・コナマダラメイガ・オオメノコギリヒラタムシ及びコクゾウが3カ国に、シヤムコクヌストが4カ国、タバコシバンムシが5カ国に、コクヌストモドキが7カ国すなわち、調査した全地区に発見された。